



**ペットフレンドリーな
まち上越をめざして！
ストラットン恵美子(久比岐野)**



Q 「ペットツーリズム」を推進する考えは。

A 観光地域づくりの観点で研究していく。

Q 動物を取り巻く諸課題解決のため、環境基本計画に動物愛護に関する体制を記載しては。

A 次回改定時に検討する。

Q 廃校等を活用し、民間動物愛護

団体も利用可能なスペースやペット避難所などを併設した動物保護管理

センターを設置できないか。

A 施設を設置する考えはない。

Q クラウドファンディングを活用し、猫の不好去勢手術費を助成する考えはないか。

A 市独自の助成制度は、多頭飼育等の発生状況を注視しつつ、必要性を含めて検討する。



人生100年時代の高齢者の生きがいづくり

Q 単身高齢者と血縁関係のない若者が共同生活を送る「異世代ホームシェア」導入の考えは。

A マッチングの難しさを含め、現時点では困難だが、世代間交流の取組などに意を用いていく。

Q 人とつながり、まちを元気にすることを目的として島根県雲南市などで取り組まれている「コミュニティナース」を推進してはどうか。

A 生活支援コーディネーターを要として地域の関係者と連携を図り、地域支え合いに取り組んでいるため、新たに取り入れる考えはない。



**市長公約の現状は
こんどう 彰治(市民クラブ)**



Q 市長は、公約で子育て全国一を目指すとしているが、現状で全国一になっているのか。

A 公約は、市全体で目指す政策の方向性やありたい姿を示したもので、一定の基準や個々の事業の結果から一律に評価できるものではない。

Q 雁木の世界遺産登録を目指すと言いましたが、進捗状況はどうか。

A スローガンとして示したものである。市では、地域と協働で景観確保に取り組んできた。

Q 火事で焼失した雁木の再建はどうするのか。

A 雁木整備事業補助金の制度もあるが、地域の意向を確認して必要な支援を行う。

Q 副市長4人制と政策諮問委員について、任期中の達成を断念した理由は何か。

A 時間的な制約で困難と判断した。

中学校部活動の地域移行に係る課題は

Q 部活動指導員の配置状況はどうか。

A 専門性の高い指導を行い、大会の引率や監督も担当できる部活動指導員を、令和6年11月末現在で11校に18人配置している。

Q 平日も部活動が廃止される方向になった場合、地域クラブの指導者確保の見込みはどうか。

A 平日は仕事をしている方が多いため、休日よりも困難である。休日の進捗状況等を検証しながら、できるところから取り組みたい。



**企業誘致で地域経済の
活性化を
飯塚 義隆(久比岐野)**



Q 大潟工業団地における整備の進捗状況と、今後の需要見込みはどうか。

A 一部の地権者から理解を得られていないが、用地取得に向けて丁寧に説明を重ねていく。整備手法によって部分的な分譲が可能かを検討し、企業ニーズに添えていきたい。また、毎年約4haの分譲実績を踏まえると、大潟工業団地分譲後においても事業用地の不足が懸念され、新たな工業団地の需要は極めて高いと考えられる。

Q 黒井藤野新田線の沿線は、新規工業団地として最も潜在的な魅力が高い地区ではないか。

A 立地の優位性の観点から、交通の利便性に優れた場所であると認識している。



黒井藤野新田線 視察の様子

グラウンド・ゴルフ場の新設

Q 令和5年6月定例会の一般質問で、グラウンド・ゴルフ場の専用コートの新設を求めたところ、整備のあり方を検討するとしたが、その結果はどうか。

A 福祉交流プラザ広場が適したコートなのか、試行的に競技してきた。専用コートとして適地であれば令和7年度予算に反映し、整備を進めていきたい。